

# 議会報告

## 2017年度9月議会のご報告

寒川町議会では2017年度9月議会が、8月29日から9月25日までの日程で開催されました。本会議においては教育委員会委員の任命についてや火災予防条例の一部改正について、また平成28年度の会計歳出歳入決算の認定など、全17議案が審査され、全て原案通りの採択となりました。また各委員会では全4件の陳情が審議され、そのうち「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情が採択されました。また合わせまして一般質問も行われまして、私、小泉しゅうすけは「介護予防について」「豪雨対策について」の二本立てにて一般質問を行いました。

## 介護予防について

前回6月議会の一般質問では「スポーツ推進について」として、スポーツによって健康を増進させることを訴えましたが、今回の一般質問では視点を変えまして、介護予防によって町民の皆様の健康状態を効果的に守っていくことを訴えました。介護予防とは、介護保険制度の中で行われている事業でして、①健康な方には健康を維持していただくことで介護が必要にならなくすること ②介護が必要な方には今以上の重症化を防ぎ身体機能を維持すること これらを目的とした取り組みです。高齢化の中で要支援・要介護の認定を受ける方々も増加していますが、介護予防事業のより一層の取組を求め、今回の一般質問を行わせていただきました。

本質問で私が訴えたことは大きく2点、一つ目は寒川町の実情に合う効果的な介護予防事業を研究し実施していくこと、二つ目は介護予防事業を町民全体に広げるリーダーの育成を進めることです。この介護予防の効果はなかなか測定しがたいものではありますが、厚生労働省の研究「地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取組事例」を見ますと、地域の特性を生かし、効果的な事業を行うことで、要介護認定を受けられる方の割合を抑制させることが出来たと報告されております。

そうした事例を元に、私が提案したのは、リトミックによる介護予防の取り組みを進めることです。リトミックとは歌を歌うことや楽器による演奏をしつつ、同時に体を動かすという運動を行うものでして、一般的には幼児などを対象にしたものと思われがちですが、既に介護予防について先進的な取り組みをしている地域や老人ホームなどにおいては「若返りリトミック」として認知症予防や身体機能の維持・回復を目指すプロ





グラムが展開されており、非常に効果も良好であるという成果が出ております。

寒川町は合唱や歌謡や邦楽など、音楽への取り組みが町民の間でも非常に盛んであり、音楽を指導されている方々も多い町です。そしてリトミック教室も町内数カ所で開催され、さらにはサークル活動としてリトミックに取り組まれている団体もあります。こうした町の特徴を考えると、リトミックを介護予防に導入することは非常にハードルも低く、また効果的であると考えられるため、本質問において提案を行ったところ、町からは『先進事例の効果についても研究していく』との回答がありました。

もう一つの提案であるリーダーの育成ですが、やはり厚生労働省の研究を見ますと、実際に要介護率の抑制に成功している地域ではほぼ全て、住民の中からリーダーを育成し、地域全体で取り組みを進めることによって効果が出てきた、とされております。現在、町では介護予防のプログラムを実施する講師を派遣する事業や、予約なしで参加できる介護予防プログラムの開催などが行われておりますが、要介護状態になる方を出来るだけ増やさないという効果を出すためには、住民の中でのリーダーの育成は待ったなしです。

現状では住民の中からのリーダーの育成という事業は行われてはおりませんが、町からは『今の講師派遣事業を、将来的には地域で活動できるリーダーの育成に繋げていければと考えている』との回答がありました。町民の皆様の健康を守るためにも、小泉しゅうすけは今後とも積極的な提案を行っていきます。

## 豪雨対策について

続いての質問では町民の皆様の生命を守るため、河川も多く平地が広がる寒川町にとっては防災の取り組みの中で最も重要と思われる豪雨への対策についての一般質問を行いました。近年、寒川町やその周辺でもゲリラ豪雨も多発し、その度に周囲の河川の水位も上昇し、氾濫寸前の事例も発生するようになってきたことを踏まえ、豪雨に対する設備面と制度面を中心とした備えの整備状況を質問しました。



神奈川県雨量水位情報ページ

豪雨に備え氾濫を未然に防ぐためには ①大量の雨水が適切に雨水幹線などを経由し排水されること ②排水先の河川でもそれを受け止められるだけの能力を持つこと これらが必要となります。従って町内での雨水対策だけでなく、寒川町より上流域の自治体での雨水対策も重要となります。そこで上流域の自治体、さらに河川を管理する国や県との協議体制や緊急時の連絡体制などを質問しました。町からは『相模川に関しては川づくり行政連絡会や整備促進協議会、目久尻

川などに関しては神奈川県流域対策協議会などがあり、河川整備や維持管理について要望を行っている』また『神奈川県雨量水位情報([http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web\\_general/suibou\\_joho/](http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/))や現地のパトロールなどで監視を実施している』との回答がありました。

また合わせて町内の下水道における雨水を排出するための雨水幹線、さらに町内に多い農業用水路の整備についても質問を行うと共に、現在は豪雨時には手動での開閉を行っている水門の操作を遠隔操作できるシステムの導入を提案しました。町からは『雨水幹線の機能確保については破損箇所の補修工事や継続した土砂浚渫などを行い維持管理を実施している』『農業用水路の水門の遠隔操作制御については一つの課題として捉えている』との回答がありました。

今回の一般質問では主に施設の整備、及び監視体制などの制度について、豪雨対策という枠組みで質問を行いました。町民の皆様の生命に直結する問題ですので、私は今後ともより安全な寒川町を目指し、様々な事例などを調査し、次回以降、万が一の際の避難準備態勢などについても議会において提案を行っていきます。

### 平成28年度決算報告について

3月議会では平成29年度の町の予算案についての審査が行われましたが、今9月議会では平成28年度の町の決算報告の審査が行われました。決算において昨年度はどのように町の財政が運営されてきたのか、それをしっかりと審査することが、次年度のよりよい予算へと繋がっていくという意味で、非常に重要な審議となります。その決算特別委員会にて、私、小泉しゅうすけは、会派を代表しまして委員として選出されましたので、審査に臨んで参りました。

決算委員会で私が行った質疑は複数の分野にまたがる非常に多いものとなりましたので、その全てをこちらで報告することは出来ませんが、会派として最終日に総括質疑のテーマとしても取り上げました、学校現場でのIT活用についてこちらでは詳しく報告致します。

近年、教職員の方々の多忙化がしばしばニュースなどでも話題になっております。一方、また寒川町においては小中学生が対象の「全国学力・学習状況調査」でも成績が全国平均より低いなど、教育環境の充実が大きなテーマとなっております。そこで教職員の方々に対しより仕事をしやすい環境を整備し、子ども達の学力をしっかりと向上させることに専念できるようにするため、そうした観点から学校現場でのIT活用についていくつかの質疑を行いました。

今やあらゆる職場での事務作業において、コンピューターはもはや必須の社会となっておりますが、寒川町内の小中学校における教職員に対するコンピューターの配備率を質問したところ、平成28年度末で教員数に対して約55%との回答でした。おおよそ二人に一台しかコンピューターが無い場合、テスト問題を作る際や成績の処理の際など、多忙な時期には業務に支障を来している可能性が極めて高い状況であることが質疑を通して浮き彫りになりました。



また生徒に対してeライブラリというインターネットを介した学習教材が提供されており、こちらを家庭での学習に使うことが推奨されてはおりますが、家庭での利用率を質問したところ、5割に満たないとの回答でした。インターネット環境を家庭で持たない方も多いと想定されるため、その点について質問をしたところ『同じ教材を印刷して渡すなどして学習に差が出ないようにする』との回答でしたが、先の質問のように、教員二人に一台しかコンピューターが無い状況では、児童に対するきめ細かな指導もスムーズに行えないのではと問いました。

近年の情報化社会において、教職員の方々がより教育という本来の仕事に専念するためにも、そして子ども達にしっかりとした教育が出来る環境を作るためにも、教員一人に一台のコンピューターの整備はもはや必須であり、早急に対策を進めるべきであると、今回の決算委員会では私からも会派からも強く訴えました。本件につきましては今後とも、その状況をしっかりと見守っていくと共に、よりよい教育環境のためにこれからも頑張っ

寒川町議会議員 小泉しゅうすけ 2017年秋

## タウンミーティングのお知らせ



寒川町議会議員の小泉しゅうすけです。2月の初当選以降、3回の議会を経て、町民の皆様の声を議会の場で伝えるべく、一般質問や委員会の質疑などで様々な取り組みを行ってまいりました。

タウンミーティングでは、小泉しゅうすけからは議会のご報告を、そしてご来場いただいた皆様方からは『こんな取り組みをしてほしい』『町にこんなことをして欲しい』などお気軽にご意見をいただければと思います。本会終了後、12月議会も始まります。いただいたご意見は議会でも積極的に反映していきたいと思っておりますので、ぜひご参加のほど、よろしく願いいたします。



### 小泉しゅうすけ(秀輔)プロフィール

1978年8月2日生まれ 現在39歳。IT系大手メーカー勤務/外注ゲームライターを経て、衆議院議員阿部知子の秘書に着任。2017年2月の寒川町議会議員選挙に当選し、現在、寒川町町議として1期目。大志会所属。議会にて建設経済常任委員・総務常任委員。また町の青少年問題協議会委員。地域では寒川ライオンズクラブ会員・寒川青年会議所会員としても活動中。



小泉しゅうすけとあたたかな寒川を作る会 2017年10月発行(討議資料)

〒253-0106 寒川町宮山1268-4クレイン栗原D号室

Tel: 080-7016-4802 Mail: koizumi@samukawa.info Web: <http://koizumi.samukawa.info/>